

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 santec
 コード番号 6777 URL <http://www.santec-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 IRグループ長 (氏名) 今城 星秀
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 大

TEL 0568-79-3535

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,074	—	134	—	152	—	144	—
20年3月期第1四半期	631	△7.8	△55	—	△63	—	△68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	12.11	12.10
20年3月期第1四半期	△5.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	8,143	—	7,131	—	87.6	—	596.29	
20年3月期	7,951	—	7,036	—	88.5	—	589.32	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,131百万円 20年3月期 7,036百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	8.00	8.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,090	37.8	150	—	140	—	130	—	10.88
通期	4,750	23.9	590	31.1	565	60.1	550	94.6	46.06

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名)) 除外 一社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 11,959,100株 20年3月期 11,939,700株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 98株 20年3月期 98株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 11,952,535株 20年3月期第1四半期 11,939,630株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年以来の原油高、各種原材料の値上がりなどにより、景気の減速感が報じられるようになりました。また、世界経済においても、米国のサブプライム・ローン問題などに起因して景気減退ムードが色濃くなってきております。

一方で、通信市場においては、高速大容量通信の需要が高まっていることなどを背景として、主な通信事業者においてはおおむね良好な内容の決算発表が相次ぎました。また、映像配信を中心とするデータ通信量の劇的な増加に対応するため、中長距離向けの設備投資は依然として堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループは、平成21年3月期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の基本方針として、「生産性向上と原価低減加速による利益改善」を掲げ、事業活動を展開しております。当社グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は1,074百万円となり、前第1四半期連結会計期間と比較して443百万円（70.2%）増加しました。世界的な通信量の増加を背景として、中長距離向けの光部品が引き続き売上を伸ばしていることが主たる要因です。

世界的な原材料コスト上昇が進行する中で、当社はそれを上回る原価低減や海外調達によるコスト圧縮に努めております。この結果、当第1四半期連結会計期間の売上原価率（売上原価/売上高）は58.0%と前第1四半期連結会計期間（62.3%）より4.3ポイント改善し、当第1四半期連結会計期間の売上総利益は451百万円と前第1四半期連結会計期間（238百万円）より89.7%の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間の営業利益は134百万円（前第1四半期連結会計期間△55百万円）となりました。為替差益が16百万円発生したことなどにより、当第1四半期連結会計期間の経常利益は152百万円（同△63百万円）となりました。四半期純利益は144百万円となっております。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

中長距離通信向け需要や、海底ケーブル通信向け需要が引き続き堅調であったことにより、当第1四半期連結会計期間の売上高は806百万円と、前第1四半期連結会計期間（479百万円）より68.1%の増加となりました。

② 光測定器関連事業

前連結会計年度に投入した波長可変光フィルタの新製品が売上を伸ばしたことに加え、現在実用化に向けて準備を進めているOCT（Optical Coherence Tomography＝光干渉断層画像計。光の諸性質を利用して非破壊で断層画像を作成する技術）装置について、研究用途向けの販売が順調であったことにより、当第1四半期連結会計期間の売上高は前第1四半期連結会計期間（114百万円）より84.9%の増加の211百万円となりました。

③ その他の事業

引き続きシステム・ソリューション事業のソフトウェア販売額が増加したことにより、当第1四半期連結会計期間の売上高は57百万円と、前第1四半期連結会計期間（37百万円）より52.0%の増加となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本国内向けに加え、北米向けや海底ケーブル通信向け光部品製品の需要が引き続き堅調でありました。また、OCT装置の売上増加も加わり、当第1四半期連結会計期間の売上高は681百万円と、前第1四半期連結会計期間（318百万円）より114.2%の増加となりました。

② 北米

北米における通信設備への投資意欲は依然として堅調であり、主として中長距離向け光部品製品の売上が増加しました。その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は260百万円と、前第1四半期連結会計期間（174百万円）より49.3%の増加となりました。

③ ヨーロッパ

ヨーロッパにおける光通信市場については、引き続き堅実な設備投資が進んでいるものと思われれます。当社におきましては主要顧客からの光部品製品受注が一時的に谷間に入ったため、当第1四半期連結会計期間の売上高は118百万円と、前第1四半期連結会計期間（123百万円）より4.3%の減少となりました。

④ その他の地域

当第1四半期連結会計期間における中国市場においては、光通信用部品等の製造工程への設備投資や研究開発に関わる設備投資は手堅く行われました。当社においても光測定器の販売に注力し、当第1四半期連結会計期間の売上高は14百万円と、前第1四半期連結会計期間（15百万円）に比してほぼ横ばいの結果となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は前連結会計年度末と比較して191百万円増加いたしました。主として売上高増加を背景とした売掛金の増加によるものです。

負債総額は前連結会計年度末より97百万円増加いたしました。取引量増による買掛金の増加が主な要因です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、高速大容量通信需要の高まりを背景として、おおむね安定した状態にあるといえますが、不均衡な需給バランスに起因する、低コストへの強い要求、発注毎に異なる仕様と短納期要求、変遷が早い技術革新など、光通信市場に固有の市場環境が当社の業績に大きく影響を及ぼす可能性があります。

こうした中、当社グループといたしましては、顧客からの正確な情報取得のための営業強化、原価低減活動、市場にマッチした新製品のタイムリーな投入を方針として事業を展開してまいります。

平成21年3月期第2四半期連結累計期間ならびに通期の業績予想につきましては、平成20年5月9日に公表いたしましたものに変更はございません。当第1四半期連結会計期間末時点で、営業利益、経常利益、四半期純利益において、第2四半期連結累計期間の業績予想との差が小さくなっておりませんが、将来の見通しについては為替変動などの不確定な要素が多く、現時点においては修正が必要とは認識しておりません。引き続き注意深く分析し、必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末における実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却可能価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっており、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産であって、前連結会計年度末において帳簿価額を処分可能価額まで切り下げている棚卸資産については、前連結会計年度末から著しい状況の変化がないと認められるため、前連結会計年度末における貸借対照表価額で計上しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

経営環境の著しい変化が生じておらず、一時差異の発生状況について前連結会計年度から大幅な変動がないため、前連結会計年度末の検討において使用した業績予想やタックスプランニングを利用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が、それぞれ1,086千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,971	1,200,310
受取手形及び売掛金	1,323,529	1,219,672
有価証券	50,295	28,985
商品	23,915	30,360
製品	123,950	92,595
半製品	82,685	73,231
原材料	286,450	276,190
仕掛品	134,399	112,141
その他	30,278	28,423
貸倒引当金	△693	△652
流動資産合計	3,247,783	3,061,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,288,281	2,319,706
機械装置及び運搬具（純額）	36,421	38,318
土地	1,618,952	1,618,952
建設仮勘定	7,066	—
その他（純額）	156,539	135,906
有形固定資産合計	4,107,261	4,112,884
無形固定資産	66,317	66,591
投資その他の資産	722,094	710,875
固定資産合計	4,895,672	4,890,351
資産合計	8,143,456	7,951,609

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	448,936	387,786
未払法人税等	18,396	23,152
賞与引当金	54,246	21,537
その他	162,228	149,297
流動負債合計	683,807	581,773
固定負債		
退職給付引当金	165,809	173,058
役員退職慰労引当金	138,040	135,200
その他	24,781	25,373
固定負債合計	328,630	333,632
負債合計	1,012,437	915,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,187	4,975,141
資本剰余金	1,209,085	1,206,059
利益剰余金	958,637	909,430
自己株式	△35	△35
株主資本合計	7,145,874	7,090,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36,153	△41,883
為替換算調整勘定	21,297	△12,508
評価・換算差額等合計	△14,856	△54,392
純資産合計	7,131,018	7,036,204
負債純資産合計	8,143,456	7,951,609

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,074,470
売上原価	622,732
売上総利益	451,738
販売費及び一般管理費	317,019
営業利益	134,719
営業外収益	
受取利息	9,723
受取配当金	196
不動産賃貸料	7,500
為替差益	16,718
その他	233
営業外収益合計	34,371
営業外費用	
支払利息	183
不動産賃貸費用	16,018
営業外費用合計	16,202
経常利益	152,888
特別損失	
固定資産除却損	8
特別損失合計	8
税金等調整前四半期純利益	152,880
法人税等	8,157
四半期純利益	144,723

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	152,880
減価償却費	46,674
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7,249
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,840
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,648
受取利息及び受取配当金	△9,920
支払利息	183
為替差損益 (△は益)	△24,698
固定資産除却損	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△74,636
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,022
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,676
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,210
その他	△45,149
小計	43,024
利息及び配当金の受取額	7,953
利息の支払額	△183
法人税等の支払額	△6,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△10,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	6,072
配当金の支払額	△75,693
リース債務の返済による支出	△930
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,680
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	113,971
現金及び現金同等物の期首残高	1,129,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,243,266

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	光部品 関連事業 (千円)	光測定器 関連事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	806,097	211,131	57,241	1,074,470	—	1,074,470
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,008	13,382	—	22,391	△22,391	—
計	815,105	224,514	57,241	1,096,861	△22,391	1,074,470
営業利益	78,061	49,494	7,162	134,719	—	134,719

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	681,602	260,381	118,328	14,158	1,074,470	—	1,074,470
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	340,613	21,620	—	770	363,004	△363,004	—
計	1,022,215	282,002	118,328	14,928	1,437,475	△363,004	1,074,470
営業利益	116,460	12,538	5,007	713	134,719	—	134,719

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高（千円）	98,685	114,639	185,426	398,750
II 連結売上高（千円）				1,074,470
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（％）	9.2	10.7	17.2	37.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	631,354
II 売上原価	393,208
売上総利益	238,146
III 販売費及び一般管理費	293,853
営業損失(△)	△55,706
IV 営業外収益	5,864
V 営業外費用	14,061
経常損失(△)	△63,902
VI 特別利益	260
VII 特別損失	59
税金等調整前四半期純損失(△)	△63,701
法人税等	4,638
四半期純損失(△)	△68,340

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△63,701
減価償却費	53,402
退職給付引当金の増減額	6,314
賞与引当金の増減額	33,171
受取利息及び受取配当金	△5,671
支払利息	61
為替差損益	2,871
固定資産売却益	△260
固定資産除却損	59
売上債権の増減額	296,297
たな卸資産の増減額	△41,282
仕入債務の増減額	△94,993
未払消費税等の増減額	△42
その他	△26,310
小計	159,915
利息及び配当金の受取額	5,878
利息の支払額	△61
法人税等の支払額	△6,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,324
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,657
有形固定資産の売却による収入	1,312
投資有価証券の売却による収入	22,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,538
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△578
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	21,501
V 現金及び現金同等物の増減額	102,709
VI 現金及び現金同等物の期首残高	913,291
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,016,000

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	光部品 関連事業 (千円)	光測定器 関連事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	479,481	114,213	54,228	647,924	△16,569	631,354
営業費用	527,444	137,416	38,768	703,630	△16,569	687,061
営業利益（又は営業損失）	△47,962	△23,203	15,460	△55,706	—	△55,706

【所在地別セグメント情報】

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	563,256	191,020	123,608	15,074	892,959	△261,604	631,354
営業費用	619,418	199,768	114,135	15,344	948,665	△261,604	687,061
営業利益（又は営業損失）	△56,161	△8,747	9,473	△269	△55,706	—	△55,706

【海外売上高】

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	122,336	116,875	74,431	313,644
II 連結売上高（千円）				631,354
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.4	18.5	11.8	49.7